

## 28日(夕)

(聖句/哀歌3章28、29節)

主がこれを負わせられるとき、  
ひとりすわって黙しているがよい。  
口をちりにつけよ、  
あるいはなお望みがあるであろう。

(祈り)

聖なる父よ、あなたは人間をすぐれた方法でお造りになりましたが、  
さらにすぐれた方法で贖ってくださいました。  
わたしたちが力を尽くし誘惑と戦い、永遠の喜びに入ることができるよう導いてください。  
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(詩編127編)

主御自身が建ててくださるのでなければ  
家を建てる人の労苦はむなし。  
主御自身が守ってくださるのでなければ  
町を守る人が目覚めているのもむなし。  
朝早く起き、夜おそく休み  
焦慮してパンを食べる人よ  
それは、むなしなことではないか  
主は愛する者に眠りをお与えになるのだから。  
見よ、子らは主からいただく嗣業。  
胎の実りは報い。  
若くて生んだ子らは、勇士の手の中の矢。  
いかに幸いなことか  
矢筒をこの矢で満たす人は。  
町の門で敵と論争するときも  
恥をこうむることはない。

(主の祈り)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。  
み国を来たらせたまえ。  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪を犯す者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。アーメン。